

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 わかやま たかし
若山 隆



「コロナワクチン みんなで受けましょう！」

只見のみなさま、しつこくて申し訳ありませんが、またコロナウイルスワクチンのお話です。みなさまの中には「私はもう年だし、どこにも出かけないから、ワクチンは受けなくていいや」とか「ワクチンは痛いから受けたくない」と思ってしまう方もいるかもしれません。そのお考えも自然なことと思いますが、そこをあえて乗り越えてワクチンを受けに来ていただきたいのです。というのも“みんながワクチンを受ける”ことが非常に重要なんです。

コロナウイルスにこれまでの日常生活を脅かされない唯一の方法は“集団免疫を獲得する”という方法です。集団免疫とは、ある感染症にかからない（免疫をもつ）人が、集団のなかで一定割合以上になると、感染症が広まることができず流行しなくなることです。コロナウイルスの集団免疫の獲得には70%の方が免疫をもつことが必要とされます。集団免疫を獲得できたとき初めて、町

内でコロナウイルス患者が発生しても、友人宅でお茶することを控える必要もなく、遠方の親族も遠慮なく来町して顔を合わせることができ、飲食店を営む方もしっかり店を開け続けられて、学校なども普段通り授業を続けられるようになると考えられます。これが望ましい未来の姿だと思いませんか？

コロナウイルスに感染せず免疫を獲得するにはワクチンを接種するしかありません。現時点では小児に接種できるワクチンはありません。したがって70%の方が免疫を獲得しようとする、ほぼすべての成人の方が接種するぐらいでないと難しいのです。

みなさま一人一人のワクチン接種で自分の身を守ることはもちろん、周りのみんなの生活を守ることができます。集団接種に足を運ぶのは大変かと思いますが、何とぞご参加よろしくお祈りします。

地域おこし協力隊として Vol.77

只見町教育振興協力隊
にわ たかかず
丹羽 貴一



「大人と高校生が共に学ぶ場づくりへ」

町下庁舎にある公営塾「心志塾」塾長に着任して、早くも半月以上が経ちました。

忙しく慌ただしい毎日ですが、天気の良い日に自転車を漕いでいると、本当に景色に癒やされます。澄み渡った空と只見川のきらめく水面、そして遠くに見える山と雪。これから季節の移り変わりを日々味わえるのがとても楽しみです。

私は現在、只見高校と連携しながら仕事をしています。放課後校舎や心志塾での高校生の学習支援、只見高校への留学生の募集などの他、只見高校「総合的な探究の時間」の授業づくりのお手伝いもしています。この授業では、目黒麴店、ねっか、新国農園、役場の移住促進担当、など様々なジャンルの方に関わって頂いており、1年間の授業を通じて、大人と高校生が共に課題解決に向けて活動していきます。

ご協力頂く町の方々にお会いする中で、私も皆

さんの熱い思いに大きな刺激を受けています。

自ら新たな仕事を切り拓く姿勢に触れたり、日本全国の山間地域に拡げるビジネスを生み出すビジョンをお聞きしたりして、ひとつひとつのお話が高校生にとって大きな学びや知らない世界との出会いにつながるはず、と強く感じました。また、お会いした方々皆、只見町をこれから担う次世代を育てるために高校生の学びに協力したいとおっしゃってくださいます。今後3年間、授業を通じて町の方々と関わることが本当にありがたく、そして楽しみに感じています。

大人と高校生の出会いの場をつくること、興味や夢を共有する場をつくること、そして一緒にやってみる場をつくること。私も試行錯誤しながら、只見高校と只見町を舞台に、大人と高校生が共に学ぶ場づくりをしていきます。どうぞ、ご協力よろしくお祈りします!!